

## 週刊 SSH 物理（2月 13 日）

### 「めざせ！未来のエンジニア～理系女子・男子応援プロジェクト」

毎年、物理コースの恒例行事「HONDA技研工業株式会社による訪問授業」を実施しました。担当の高木様、長谷川様からは、仕事の話やお二人のキャリア選択についてお話をいただきました。また一台のクルマができあがるまでの営業や開発、生産等の各部署の役割や、様々な専門分野の人々が協力して働いている様子もうかがい、生徒たちは分野を超えて協働するという視点も得ることができました。

開発に携わったバイクの?世界での活用や、環境問題という視点からの開発の課題についてもお話くださいました。燃料科学が重要とされるその社会事情を、生徒たちは深く理解することができました。



この度の講演では、HONDAの会社の開発のながれや、高校の学習とからめたバイク開発の課題解決の仕方などを、非常にわかりやすく説明していただきました。また、開発者である長谷川さん自身の経歴や開発内容から、わたしたちへのメッセージもいただきました。私自身としては、「物理の、モノの動きを予測することができるものから、モノをつくっていける」という長谷川さんの楽しみ方が現在の職に活きているのを聞き、物理学の実社会での活き方や科学を学ぶことの可能性、開発者のすごさを感じられて良かったと思いました。

高校2年生で今後の進路についてちょうど悩んでいたときに、HONDA の社員さんの進路決定や会社でのモビリティの開発のお話を聞くことができ、自分の将来について具体的なイメージがわきました。業界では学歴に関わらず実力のある人材が強く求められていること、また、どんな分野でも共通して自分の意見を正確に相手に伝えられるコミュニケーション能力が大切だということが心に残りました。この講演は、自分の将来から逆算して学生のうちにできることを考えるきっかけになりました。